



臨床研修病院としての役割

地域の中核病院としての機能を有する当院において、最新の医療施設及び情報を提供し、病院全体として医師の臨床研修を積極的に支援する

初期臨床研修の理念・基本方針

理念

プライマリ・ケアから高度な医療まで幅広い経験を積むとともに、様々な医療従事者と密接な連携のもとで多くの患者に接することにより、医師として必要な人格を育み、広く社会の医療福祉に貢献できる人材を育成する

基本方針

- ①臨床医として必要なプライマリ・ケアの基本的な診療能力（知識・技能・態度）を習得する
- ②人として信頼される人格・素養を身に付け思いやりの心を持って患者およびその家族に向き合い患者中心の全人的医療を行える
- ③チーム医療の一員としての役割を理解し、多職種と協働して診療することができるコミュニケーション能力を身につける
- ④医療安全の本質を理解し、実践する能力を身につける
- ⑤地域の中核病院としての役割を理解し、健康の保持、疾病の予防から社会復帰に至る医療全般の責任を有することを自覚し、行動できる

Resident
楽しみながら学ぶ
成長しながら輝く



副院長 辻 靖博

新研修医のみなさん、松江市立病院へようこそ。心より歓迎いたします。大学を卒業し、研修医はこれまでの「学生」ではなく「社会人」として扱われ、日常生活や対人関係などこれまでとは大きく違った環境で活動していかなければなりません。この大きな環境の変化にすぐには順応しきれず、様々な悩み、葛藤を抱えてしまう人も多いと思いますが、困り事、心配事があればまずは昨年同じ経験したばかりの2年生の先輩を頼ってみましょう。懇切丁寧に教えてくれると思いますよ。

さて、晴れて研修医となった皆さんの毎日はどうなっていますか。知識も技術も何もなく、毎日指導医の後ろでうろたえる日々が続いていることと思います。でも、知識も技術もほとんどない新米研修医にも、いや研修医だからこそ出来ることがあります。それは担当指導医と担当患者を密接につなぐパイプ役になること。主治医になったからにはまずはその患者さん自体を知り尽くし(病気以外にも)、またその患者さんが気兼ねなく声をかけられる相手になれるように努力する、すなわち、病気の知識には乏しくても、まずはより患者さんに身近な存在になることが大事な任務だと私は思います。上級の医師になると入院患者をゆっくり診る時間も余裕も無くなり、ちょっとした変化にもなかなか気づいてあげられなくなります。また患者さんにとってはより上級の医師になるほどより遠いヒトのような存在に思えてきたりもします。そこで研修医の先生こそが、その変化に早く気づいて上へ報告する、また上級医のIC内容を正確によりわかりやすく患者さんに繰り返し話をしてあげるといった大役を担っているのだと思います。そのためには患者さんとの接触にできるだけ多くの時間を割く必要があります。そうしていれば、当然、病気についての知識をより現実的に身につけることも出来、教科書通りの(あるいは教科書とは異なる)病状の変化を目の当たりに観察することも出来るし、医療以外にも話術や、小児科であれば子供と遊ぶ術、親との関わり合い方も自然に身につけてきます。何の知識もない何も出来ない研修医にとっては、まずは観察すること、そのためには患者が起きている時間に出来るだけ接触することから始めるのが一番と思っています。教科書を読むのは患者が寝た後で良いです。これから大変な2年間になると思いますが、2年後にとっても充実した有用な2年間だったと思えるように精いっぱい頑張ってみてください。2年後には「ここで研修して本当に良かった」と言ってもらえるように私たち松江市立病院職員一同精一杯応援していきたいと思っています。

令和7年度初期臨床研修修了式を執り行いました



2年次研修医8名の先生、初期臨床研修修了おめでとうございます！そして、たすきがけで1年間当院に研修に来てくれた2名の先生、お疲れさまでした！これから、それぞれ新しい生活が始まりますが、初心を忘れず、自分の目標に向かって一歩ずつ進んでほしいと心から願っています。

私たちは、みなさんのこれからをずっとずっと応援しています。

最後に・・・医師としての第一歩の場所に松江市立病院を選んでくれてありがとうございました。

初期臨床研修修了おめでとうございます



笑顔あふれる未来と なりますように...



修了式のあと、ささやかな送別会を開催しました。指導医の先生方、研修医の先生達、そして診療支援室の職員が集まってみんなで楽しい時間を過ごしました。1年次の先生から、ガーベラの花と素敵な記念品がプレゼントされました。ガーベラの花言葉には「常に前向き」「希望」という言葉があるそうです。みなさんのこれからの、夢と希望に満ちた素晴らしい日々となりますようお祈りしています。またいつか、一緒に働ける日が来ることを願って・・・2年間おつかれさまでした！そして...ありがとうございました。



当院で初期研修を修了された先生方へ お願い

当院で初期研修を修了された先生方の名簿を診療支援室で管理しております。勤務先等に変更があった場合は診療支援室のメールアドレスまでお知らせいただきますようお願いいたします。

診療支援室のアドレスはこちら
isisien@matsue-cityhospital.jp



令和8年度初期臨床研修がスタートしました！

4名の新しい研修医の先生方を迎え、11名体制で令和8年度初期臨床研修がスタートしました。

1年次の先生はオリエンテーション後、各診療科での研修が始まっています。1年次、2年次ともに助け合って、楽しく充実した研修生活を過ごしてもらいたいと願っています。研修医の先生たちにとって大事な2年間・・・全力でサポートしていきたいと思います！

今後の糧になる充実した2年間にしたいと考えています！
日々学び、精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。
吾郷 貴志

全身全霊で取り組み、出来ることをどんどん増やしていきたいとおもっております。
よろしくお願いいたします。
糸川 昂宏



笑顔と感謝を忘れず、精一杯努力していきます。
よろしくお願いいたします。

中村 佑梨

できることを増やせるように、しっかり学び、研修に励みます！
2年間よろしくお願い致します。
堀 亮近

頑張れ！研修医のみんな



エールを送ります！



当院で新たに初期臨床研修を開始する4名の皆さん、松江市立病院へようこそ！
新たな生活の始まりに、期待と不安が入り混じった状態ではないかと思います。医師としての最初の2年間は、医師としての基盤が作られていく大切な時期です。医師は、社会に貢献する事によってのみ社会から存在を認められる職種であると思います。日々の研修を漠然とこなすのではなく、医師という仕事をどのように捉え、どのような心構えで仕事に取り組んでいくのかを常に考えながら積極的に研修に取り組んでくれることを期待しています。
教育研修センター長 佐々木基史

第7回マツケンサンバを開催しました

さるも聴診器を極める



松江圏域の臨床研修病院の研修医、指導医が集合し、第7回松江研修医3病院のつどい場、通称マツケンサンバを開催しました。
「サルも聴診器を極める！」をテーマに心電図と胸部XPという日々の診療で欠かせないテーマについて講師の先生から実践的にご指導いただきました。他病院の研修医とも交流しながら学べるこの機会は、地域で働く仲間としてのつながりを感じられる貴重な時間であったと感じています。



令和8年度島根県臨床研修医合同研修会に参加しました



しまね合同研修会に参加し、社会人・医師としての心構えやメンタルヘルスとの向き合い方など、多くのことを学ぶことができました。また、講演を通じて自身の価値観や視野が広がり、今後どのように医療と向き合っていくかを改めて考える良い機会となりました。さらに、グループワークでは県内各病院の同期と悩みや目標を共有し、親睦を深めることができました。同じ立場で頑張る仲間とのつながりを持てたことは大変有意義であり、今後のモチベーション向上にもつながる貴重な経験となりました。夜の交流会では、県知事をはじめ多くの方々と交流する機会にも恵まれ、非常に充実した時間を過ごすことができました。本研修会を開催・運営してくださった皆様に心より感謝申し上げます。

1年次研修医・中村佑梨

楽しみながら学ぶ★成長しながら輝く

令和9年度採用

初期臨床研修医の募集を開始しました！

研修医の成長を全力で支えます！

病院見学
随時受付中！

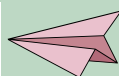
令和9年度採用 初期臨床研修医募集について

松江市立病院のホームページ内にある「初期臨床研修医採用情報」へ令和9年度採用初期臨床研修医の募集要項を掲載しました。併せて松江市立病院SNSにも初期研修医募集開始について投稿しました。ぜひご覧いただければと思います。みなさんからのご応募をお待ちしています！

病院見学随時受付中！お待ちしております

「初期臨床研修医採用情報」の病院見学申込みフォームからお申し込みください

<https://www.matsue-cityhospital.jp/recruit/resident/>



病院見学は、学生の皆様のご希望に沿って日程調整を行い、一人ひとりにあったオーダーメイド感覚で見学内容を計画します。また、指導医や研修医との懇談の時間を確保するよう努めています。



松江市立病院Facebook



みなさんの

フォロー

いいね！

よろしくお願いします！

松江市立病院Instagram



松江市立病院
Matsue Cityhospital

〒690-8509
島根県松江市乃白町32番地1
TEL (0852) 60-8000 (代)
FAX (0852) 60-8005

発行者/松江市立病院 病院長

編集/診療支援室